

和歌山県医務課

和歌山県こども救急相談ダイヤル #8000

令和5年度実績

■事業概要

夜間・休日にこどもが急病になったとき、すぐに病院に行った方がいいのか、それとも様子を見て大丈夫か、看護師（必要に応じて医師）が相談に応じます。

■相談時間

- 平日…19時～翌朝9時
- 土日祝・年末年始（12/29～1/3）…9時～翌朝9時

■電話番号

- #8000（プッシュ回線・携帯電話）
- 073-431-8000（ダイヤル回線・IP電話）

■補足

このダイヤルは、あくまで保護者の方々に助言を行うものであり、診断・治療や医療機関の紹介を行うものではありません。

医療機関の紹介は、「和歌山県救急医療情報センター」で行っています。

《和歌山県救急医療情報センター》

受診可能な医療機関を24時間体制で案内しています。

TEL:073-426-1199（いい救急）

1 相談件数

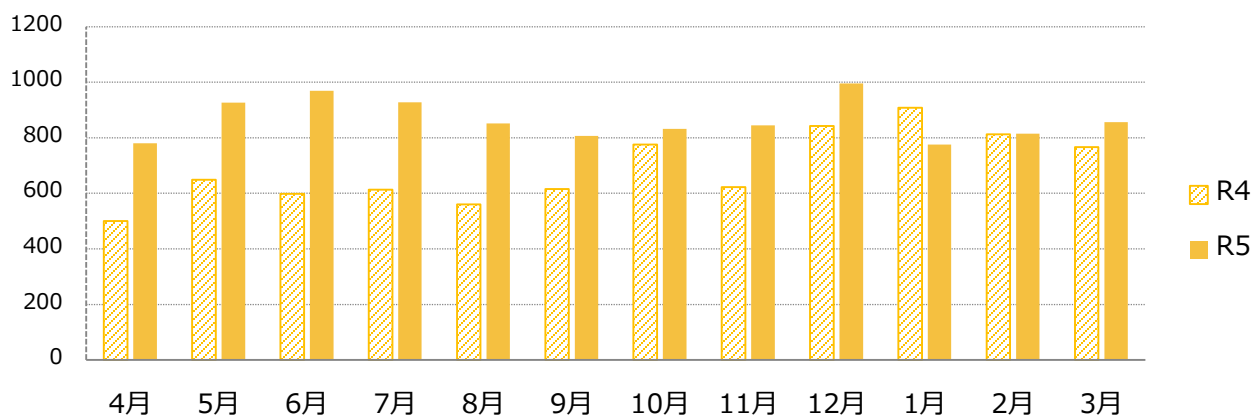
令和5年度は、累計10,382件の相談がありました。

月別では、12月が最も多く、次いで6月、7月の順で相談が多くなっています。

また、令和4年度は冬期（12月～2月）の相談件数が比較的多い傾向にありましたが、令和5年度は大きな偏りのない結果となりました。

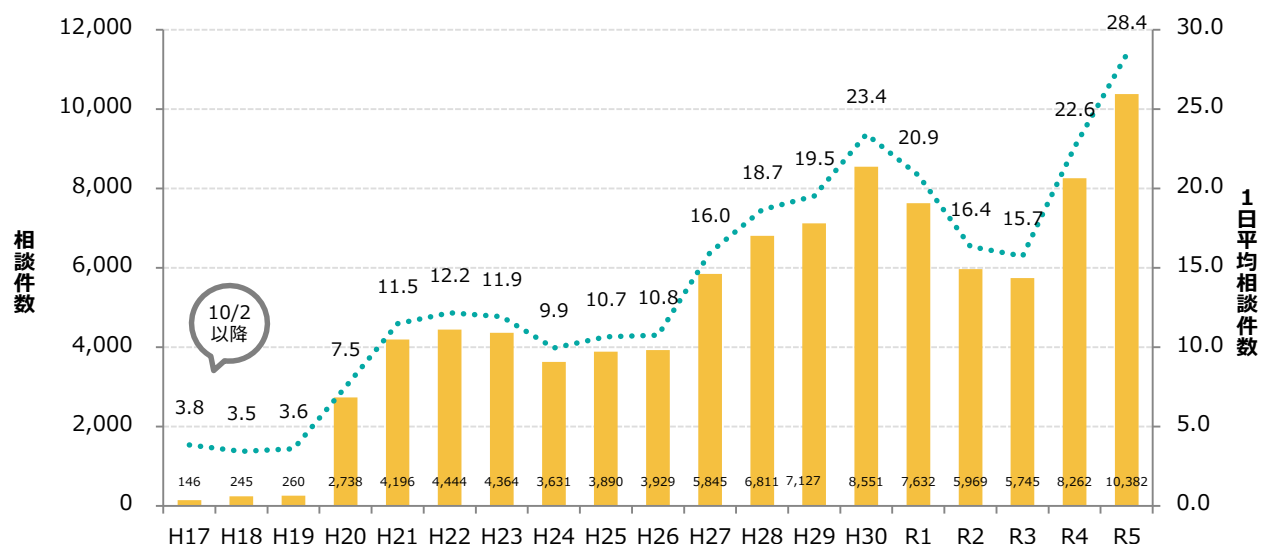
令和5年度累計

10,382件



2 相談件数の推移

新型コロナウイルスの影響等により、相談件数は減少傾向にありましたが、令和4年度以降は増加傾向にあり、令和5年度は過去最多となりました。



相談
実施日

日祝・年末年始：
19時～23時

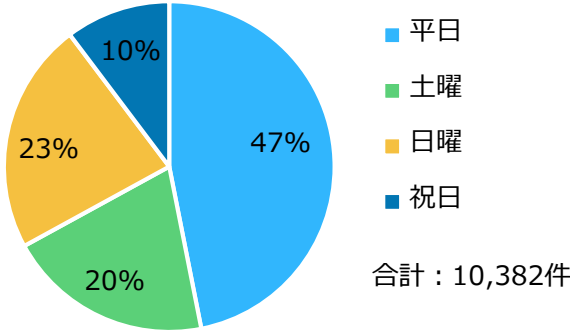
H20～相談日拡大
毎日：19時～23時

H27～時間拡大
平日：19時～23時
土日祝・年末年始：
9時～23時

H30～時間拡大
平日：19時～翌9時
土日祝・年末年始：
9時～翌9時

3 曜日別の相談比率

土日祝日の相談が5割以上を占め、ニーズが高い傾向にあります。



4 時間帯別の相談比率

19時～21時の相談が最も多く、全体の約3割を占めています。
昨年度と比較して、従来から実施していた時間帯の利用割合は減少し、平成30年度から延長実施した相談時間帯（23時～9時）の利用割合は増加しています。

令和5年度

①従来から実施していた時間帯			②H30から延長実施した時間帯		
相談時間帯	件数	割合	相談時間帯	件数	割合
9時～11時	423	4.1%	23時～1時	940	9.1%
11時～13時	462	4.5%	1時～3時	588	5.7%
13時～15時	630	6.1%	3時～5時	353	3.4%
15時～17時	694	6.7%	5時～7時	357	3.4%
17時～19時	809	7.7%	7時～9時	598	5.7%
19時～21時	2,764	26.6%			
21時～23時	1,764	17.0%			
小計	7,546	72.7%	小計	2,836	27.3%
①・②の合計：10,382件					

(参考) 令和4年度

①の小計	6,212	75.2%	②の小計	2,050	24.8%
①・②の合計：8,262件					

5 相談時間別の比率

1回あたりの相談時間は、
94.7%が「10分未満」です。

相談時間	件数	割合
0～5分未満	5,182	49.91%
5～10分未満	4,645	44.74%
10～15分未満	495	4.77%
15～20分未満	53	0.51%
20分以上	7	0.07%
合計	10,382	

6 相談対象者の年齢構成

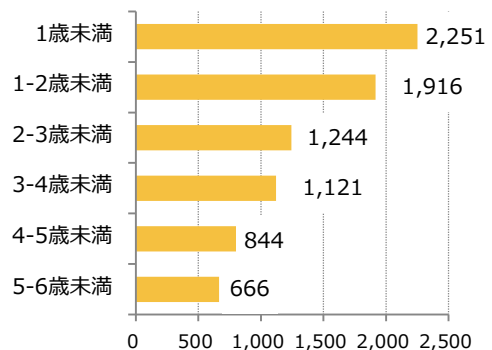
相談対象者の約8割は6歳未満の乳幼児です。

とりわけ、0～2歳未満の乳幼児に関する相談が多く見られました。

年齢	件数	割合
0～6歳未満	8,042	77.4%
6～12歳未満	1,833	17.7%
12～15歳未満	187	1.8%
その他	320	3.1%
合計	10,382	

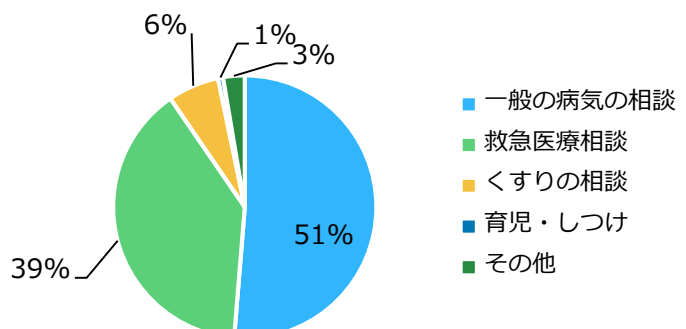


乳幼児の年齢別件数



7 項目別の相談内容

最も多いのが一般の病気の相談で、
半数以上を占めています。次いで、
救急医療相談、くすりの相談が多く
なっています。



8 症状別の相談内容

発熱による相談が3,660件（28.9%）と最も多くなりました。続いて嘔吐1,609件（12.7%）、咳嗽・喘鳴1,224件（9.7%）となりました。

症状	件数	割合
発熱	3,660	28.9%
嘔吐	1,609	12.7%
咳嗽・喘鳴	1,224	9.7%
耳鼻科関連	757	6.0%
頭部打撲	576	4.6%
外傷・刺傷	539	4.3%
発疹	527	4.2%
腹痛	496	3.9%
誤飲誤食	486	3.8%

症状	件数	割合
下痢	348	2.8%
けいれん	203	1.6%
眼科関連	185	1.5%
歯科口腔	178	1.4%
予防接種	123	1.0%
熱傷	72	0.6%
その他	1,661	13.0%
合計(※)	12,644	

※重複あり

9 対応内容

翌日の医療機関をすすめた件数が最も多くなりましたが、すぐに医療機関をすすめた件数も多くなっています。

また、中には、119番をすすめる事例も発生しています。

対応	件数	割合
119番をすすめた	154	1.5%
すぐに医療機関をすすめた	4,211	40.6%
翌日の医療機関をすすめた	4,945	47.6%
一般的な保健指導・育児相談	776	7.5%
その他	296	2.8%
合計	10,382	

10 相談者の居住地別の利用状況

和歌山エリア（和歌山市、海南市、紀美野町）からのご利用が半数以上を占めています。

一方、紀南地方での利用が比較的少なく、地域によってニーズの差があると考えられます。

